夕刊 磐城新聞

十月十日發行

定價 一ヶ月 金六十五錢(郵稅拾五錢) 一部 金五錢
廣告料金 普通欄 一行金六拾錢 雜報欄 一行金九拾錢 五號十二字詰一行 (場所指定一行册錢增)
編輯兼印刷發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞 合資會社
營業所 平局私書函第十二號 電話五六四番 (タイライワキ)
(日曜祭日翌日休刊)

島原見聞 三

エッチ・エス生

併し雲仙の眞價は寧ろ此等固有の景觀よりもより以上に其の眺望の廣濶絶佳とあることに存すべきは勿論である。今や國立公園として一層其の面目を改め施設の完成を期するに至つたことは實に喜ばしい事である。

南有馬町の海岸丘陵地には原城の遺跡がある、此地は代々有馬氏の居城であつたが松倉氏が代つて領主となるや此城に入らず新たに島原に築城したので自然廢城となつてゐたが、寛政十四年天草及び島原の切支丹教徒が天草四郎を大將として此城に據つて反旗を飜へし五ヶ月の間天下の大軍を引受けて善戰苦鬪し追討使板倉重昌(爾島藩主)をして戰死せしめた程の勢ひを示したが、孤立無援衆寡敵せず兵糧亦た盡きて三萬七千餘人の反徒は全部討死を遂げたのである。其の城跡は概ね畑地となつてゐるが概形は今尚ほ指摘することを得べく當時の死片、彈丸等の發掘せられたるものが町役場に保存されてある

島原一揆が如何なる原因によつて蜂起するに至つたかを檢討するは頗ぶる趣味ある問題であらう、當時坂倉重政は拔本的に切支丹の撲滅を計らんが爲め、先づ領内に於ける信徒の名簿を作製せしめ、次て三個の鐵印を製し内一個は『きり』の二字一個は『し』の一字一個は『たん』の二字を各刻し而して信徒に對して轉向を諭し、若し之れに背んせざる場合は其の前額及び左右の頬に烙印し、或は男女を問はず其指を斷ち二條の縄にて手足を縛して海中に沈め或は雲仙岳の地獄に連れ行き熱湯中に投じ、或は竹鋸で首を挽き落す等殆んど殘忍酷烈到底人間として忍び得ざる手段を以て殺戮したといふ、加之一般領民に對する苛斂誅求最も甚だしくて其の極端なるものに至りては埋葬には穴錢を取り、出産には頭錢を徴し、其の他爐錢、窓錢、棚錢、野菜錢等の税目を設けて搾取至らざるものなかりしといふ

以上の如く轉教を强ひ之を背んせざる切支丹教徒に對する酷迫と苛烈極まる虐政とに堪へ兼ねて進退終に谷まり窮鼠却つて猫を咬むの擧に出でたるものであるといふのが全く其の眞相であるが、封建時代にあつて何等統一されたる法制の定めなく各藩主の專政治下に在つては獨り島原のみならず他藩にも之に類似せる秕政を敢てし領民をして其の殘虐に血涙を絞らしめたる實例枚擧に遑あらざるべし世の爲政者たる者輕々に觀過すべきではあるまいと思ふ(終)

波になげく

加藤さかえ

耐へられぬ淋しさに辿り
ついた磯の邉
白い波が
ザートー 足許にくづれて
ゐた
白い月光が 波にくだけ
て
かつてはこの岩の上で
昇る朝日に瞳輝やかせて
希望のうたをかなでた私
だつたけれど
このやうに 浪は 白波
は
他愛なく打くづれてゐる
のに
あの かたくなゝ人の心
が
さびしい さびしい
お前のその力强い響きで
あの人の心のおくのそこ
までも
白波よ――
とかしてしまつて頂戴
過ぎさつた日の事どもを
みんな〳〵
白波よ――

游濱屋旅亭

珠雲 小野務平

亭在淨光精舍東
園庭點綴樹蒼蘢
雪白洲淸長濤裂
帆檣林立活畫中

秋

林圭子

○街の上かげらす雲の一片も空には見えず照りに照りつく
○照りつくる暑さと思へ街のなかもののあらはなり秋づくらむか
○濠端の芝生の萩の枝垂らし花さく見れば秋づきにけり
○そこはかと秋は來ぬらし街路樹の柳のかげのあはれにみだるる
○大き家ならびて日光さゝぎれば風秋めけり平の街に

寄贈書目

△法律新聞十月發行號 明治卅二年創刊現在四千號の紙齡を有する此種專門誌の最高權威、最新の法律記事滿載(一部稅共十錢五厘、東京日本橋區本町四丁目五ノ五其社)

10月11日

△日蓮『十一通御書』を幕府に呈す(文永五)△渡邊華山歿す(天保一二)△歐洲大戰休戰條約成立(一、九一九)△マルセーユ事件から佛內閣總辭職(昭和九)

10月12日

△俳聖芭蕉の死『元祿七』△國會開設の詔勅下さる(明治一四)△內蒙古獨立の報傳はる(昭和八)△比律賓全小賣業者は日支商人排斥運動を起す(同九)

太郎の小心

臼井歳次

2

『兄貴の奴にもこまつたね！』

ある時、太郎の妹の時枝に逢つた時、何氣なく言ふと

口惜しかつたのであらう、急にしやくり上げてかき出したことがあつた

仕事が思ふ樣にないといふので、田舎へ歸つた太郎から痔の手術を受けてゐるといふ手紙が來た

『あいつは田舎にゐた方がいゝ、田舎で養子になるといゝんだ養子の口ならちやんとあるんだから』

そんな風に妻と話し合ひながら重荷を下した樣な氣がしてゐた。するとそれから二三ヶ月も經たない内にひよつくり、田舎にゐる筈の太郎の顔が私の家に現れた。然しその時の太郎の顔はいかにも瞞々した元氣に滿ちた顔だつた

『大崎へ來てゐるんですよ。すつと前に來たんですよ。そら、あの永島さんとこですよ』

玄關に立ちながら立てつゞけにさういふのであつた

永島といふのは同郷の人で大崎に洋服の裏地の店をもつてゐる人でたま〳〵その人が歸郷した際、話がまとまつて、一緒に上京じたのださうだ

『そりやいゝや』

朗かに私も相槌うつのであつたが。何だかこの言葉は太郎の爲といふよりも私自身の爲の言葉だとひそかに苦笑した。同郷人であつて見れば、太郎も氣樂につとめられるであらう。すべての世話もして呉れるであらう。隨つて私は大いに責任が輕い

大崎のその洋服屋さんにゐて、太郎は仕事も面白く至極呑氣な樣子であつたが滿三年勤めてやめてしまつた。どうしてやめたのか詳しい事情は分らない。その次がチョコレート製造所なのである

―◇―

小說 高橋是淸

(140) 松浦泉三郎作 佐々木今朝吉畫

日銀騷動まで(四)

歐米視察七個月の旅から卅一年九月歸朝した時は、政權は既に伊藤伯から大隈伯に移り、所謂隈板內閣が成立し、自由黨の松田正久が大藏大臣の任に當つてゐた。

岩崎日銀總裁は間もなく松田藏相との意見の相違から職を辭すに至り山本達雄がその後を襲つた

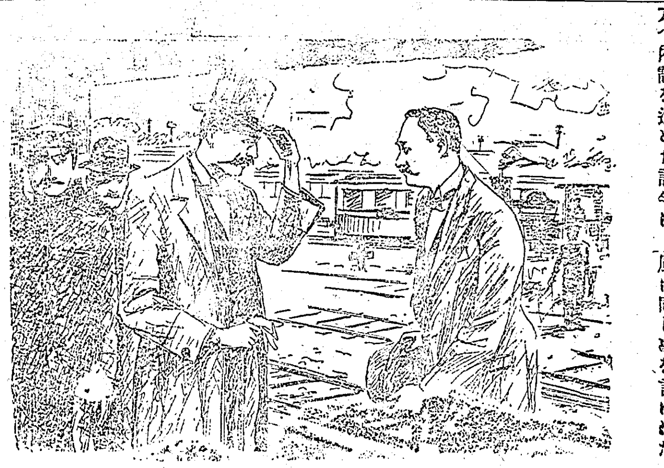
隈板內閣は僅四ヶ月にして再び松方正義を大藏大臣とする山縣內閣に代つた

翌卅二年一月末頃から、所謂日銀騷動の端緒となるべき、山本總裁對河上謹一、鶴原定吉一派の暗鬪が、是淸の目にも明瞭に映し出されて來た。そして更に二月の日銀總會以來、この對立は、よりハッキリした形となつて現れて來た

この總會で鶴原營業局長は理事に就任した。必然營業局長の後任を定めなければならない。山本總裁は西部支局長首藤諒を推した。が、鶴原西部支店長志立鐵次郎を當てんとして、急據志立の出京を促した。營業局長に任する旨を言ひ添へたらしかつた。志立はその心算で引揚げて來た。山本總裁に對し、無斷で事を運んだのである。この事が騷動の導火線となつた。無論原因はこれだけではなかつたが

是淸は深く憂慮した。調停の任に當りたい旨を、双方に申出た。が、双方共、調停の見込なしとして拒絶した。然し是淸としても益々募つて行く、兩者の反目を看過する事は出來なかつた、事は單なる個人同志のみの問題ではないのだ。日本銀行の仕事は國家の仕事だ。國家――この一語程、常に是淸の念頭を放れぬものはなかつた

臺灣銀行設立委員會の日委員會を終へると、大藏省を出た足で是淸は日本銀行へ向つた、熱意を盡して双方へ內談を進めた話中に、



いつか日はとつぷりと暮れてゐた。是淸は、山本、鶴原の二人を晩餐に誘つた

料亭島村の一間で、三人は、別々の思ひで酒盃を傾けてゐた。是淸は、二人の盃へ酒を充して、

『訓戒じみて申譯ないが……』

微笑を含みながら、しんみりと語つた。

『考へて見ると、御兩君も河上君も。共に、日本銀行に人物養成の目的から、亡くなられた川田總裁の引立てゝ來られた、いはば兄弟分と言つた間柄なので、この事も一つ、御兩君の念頭において戴きたいと思ふ』

二人は默つて頷いた

『川田總裁は御自分の死後の、我々の事に就いては、隨分心配されてゐた。僕は前後二度、總裁の口からハツキリそれを聞いた。忘れずにゐる。一度は三田秘書と同席の時、一度は二人きりで對座の時だつたが、二度とも病床から話された笑ひながらの話だつたが、今考へると、その笑ひ顔の泌々寂しかつた事を思ひ出す

『わしの死後は、折角わしの養成した者も、皆分れ〳〵になつて、某々等は必す官途につくだらうし、某々等は必ず民間にゐて角突き合せをしつづけるちやらうよ』

名は言はぬ。が、そんな風に同じ事を言はれた。それ程案じられてゐた。僕はそれに對して二度共

『斷じてその御懸念は御無用です』

キッパリとさう答へておいた。その總裁に養成された人々が、自我を通し、感性に動かされて對立し合ふやうな事があつては、僕は泉下の川田總裁に對し申譯ない事だと考へるが……』

語り終へて是淸は再び二人の前へ銚子を擧げた。が二人は依然無言で倫臺の端に重ねた掌を見つめてゐた表情のない顔だつた

酒店員入用

二名 自轉車に乘り得るもの(靑年、壯年各一名)
住込み、通勤、給料等面談の上
姓名在社

株ハ一株ヨリ、債券ハ一枚カラ賣買致シマス。

△支部株式店

平町三丁目 電話一七七番

謝恩大奉仕

開店廿周年記念 ……十月十二日ヨリ七日間……

福引大賣出し

思ひ切つた安値品新製品珍柄豐富に取揃へ全商品の謝恩大奉仕!
……持越品記念半額大提供……

…記念おつとめ品…

ニコ〳〵 八〇
ニコニコ伴天地 四八
三河正紺縞 八〇
正紺織 一・〇〇
木綿裏地 五〇
英ネル 八五
人絹羽裏一丈四尺 四五
正紺フトン地 七五
靑梅フトン地 七五
名古屋帶 一・〇〇
松山絣 一・六〇
天竺一反(大巾)(丈四尺) 上九五 中八〇

パラマウント友仙 一丈物 七〇
友仙モス 新柄(上) 一丈物 一・〇〇
ネル 一丈物 白六八 時七五
モスリン着尺 二・九〇
パラマウント着尺 二・〇五
全次品 二・〇〇
綿セル 九〇
秩父夜具地 二・八〇

…商品券記念品呈上…
金三圓御買上毎に福引呈上
特等―二十圓商品券 一等―丸帶 二等―銘仙 三等―レーヨン小紋 四等―記念風呂敷 五等名入手富貴

今秋の優秀品
…御婚禮衣裳大特賣…
振袖、江戸褄、丸帶 殿方用品一式

洋品雜貨部の新製品特賣
御得意樣の御引立にあづかりまして益々躍進致して居ります。毛布、手編用毛糸、秋より冬への毛糸用品を充分取揃へて皆樣の御期待に副ひます樣心掛けて居ります。是非〳〵御用命下さい。

◎おつとめ品は福引ありません。數量に限りありますから、賣切れぬ內お早く願ます

三井吳服店

平町・電三八・二八四

耳鼻咽喉科專門
(入院隨意 病室完備)

大和田醫院

平町南町一六番地 電一一七〇番

小型活動寫眞機
ポニー 九ミリ半

改良された前進號
撮影機 ¥25.00
映寫機 ¥24.00
(カタログ進呈)
平2・電3
西村屋藥舖 カメラ部

百果味美しく食欲のすゝむ秋となりました。今迄暑さのために弱つてる胃腸病の方が涼しくなると俄に澤山食過ぎてお腹を害したらスグキ、メの早い

胃腸藥 靈効散

を御試し下さい

胃腸病。心臟病。腸。痔。適應藥
三年、五年と患ふ慢性病胃腸病が全快した人が澤山あります。御望みの方には見本藥一日分を差上ますから御遠慮なく御來局下さい。

處方箋調劑所
阿康藥局

平町古鍛冶町縣社ノ下 電話四四番
定價(五十錢 八日分)(壹圓 廿日分) 振替口座東京三〇〇六番
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

洋服普及六十年祭記念……景品付大特價提供

明治五年十一月十二日禮裝御制定の太政官御布告を仰いでから、ことしはまさに六十餘年となりました。これを記念する爲め大特賣提供致す次第であります。

◎新製秋冬紳士服御誂 御假縫付仕立入念奉仕!!

一、背廣三ッ揃 金三十圓より
一、オーバ各種 金二十五圓より
一、モーニング一着 金四十五圓より
一、立衿一着 金十二圓より
一、二重廻一着 金二十七圓より
一、東コート一着 金十六圓より
以上

尙弊店では毎月上京致しまして、常に、型に、色合に、都會に遲れない樣に努力致して居ります。

◎目下特別景品附特賣中です

感謝の意を表して景品提供

御注文一着毎ニ抽籤券進呈(但シ金參拾圓以上)
一等 モーニング及、縞ズボン生地一着分 一本
二等 ラクダオーバ、コーチング生地一着分 一本
三等 合背廣服生地一着分 二本
四等 當店發行金拾圓券一枚 本
五等 箱入カフスボタン一組 三本
▽以上全部總當り

◎特賣期日 九月十五日より十二月三十日まで
◎抽籤發表 昭和十二年一月十五日嚴正に抽籤執行

高野洋服店

平町南町 電話(呼)四八五

夜間 診療

胃腸病 性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科

松村胃腸性病科醫院

(平町南町電一〇七番)
(見習看護婦募集)

美味デ滋養分豐富ナ にんべんノ
新鰹魚節ガ出來マシタ。

宍戸屋商店

平町四丁目 電話(臨干部)二一五番 (鮮魚部)四〇七番

日華生命保險株式會社代理店
外務社員募集

(委細面談)

難波醫院

內科 小兒科
入院應需 自炊の便あり
平町大町 電話五〇二番
醫學博士 難波睦
(看護婦見習、看護婦募集)

婦女子少年の深夜業 愈よ廢止實行に入る

先づ磐城、入山の一部と古河全山 燈下から姿を消した選炭孃

鑛夫勞役扶助規定第七條の改正に依つて全國各鑛山における婦女子及十六歳未滿の男子を指稱する所謂保護鑛夫の深夜業を昭和十三年九月一日限り全廢する豫定で目下次第に深夜業廢止が實行されつゝあるが、仙臺鑛山監督局内で現在なほ深夜業を廢止してゐないものとして磐城、入山、古河、勿來、小田第二、隅田川の六礦、その坑數八坑があり、そのうち磐城の住吉坑、入山の第四坑及び古河炭坑が去月三十日限り其らに對する深夜業を廢止するに至つた、なほ仙臺礦山監督局では昭和十三年三月三十日限りを以て管內全鑛山の深夜業(主として選炭婦等鑛外作業)を撤廢するといはれその曉は管內七百の該當者が深夜業から解放されることゝなる譯である

諸事滯り無く進捗 四倉上水道起工

堀江工業に指名か

四倉町上水道工事は愈よ玆數日中に設計が完成し請負者を選定する段取りとなつたが町に於ける大体の意向は平町堀江工業會社に指名請負に傾いて居る樣である一方敗地買收も大体目鼻が附いたので本月中起工式を擧げる事になるであらうと

磐陽野球爭覇

來る廿五日と來月一日 展開さるる豪華試合 午後一時磐中球場

磐城審判協會主催第十一回磐陽野球大會組合せは左の如く決定、來る二十五日、來月一日の兩日磐中、平商兩球場に於て行はれる、なほ揚土倶樂部は不參で左の八チームにより地方球界の豪華版は展開される

△第一日＝十月二十五日
A 磐炭―平倶 午前十時磐中球場
B 高月―平鐵 午後一時同上
C 入山―遊友 午前十時平商球場
D 古河―湯本 午後一時同上

△第二日＝十一月一日
Aの勝者―Bの勝者 午前十時平商球場
Cの勝者―Dの勝者 同上 磐中球場
決勝戰

植田町兩社 殿營繕決定

植田町 一昨年來の懸案であつた八幡神社本殿及拜殿の改築工事は愈々近日起工することとなり此程十五名の委員が社務所に集合第一回の委員會を開催し左記豫算を決定した

總工費參千五百圓、內八幡神社屋根葺替工事一千五六百圓位、稻荷神社新築並に屋根葺替工事二千圓位

尙目下町有志家より寄附を募りつゝあるが遲くも一ヶ月後には着工、本年末落成の見込であると

であると云ふ

交通安全 宣傳自動車隊で管內にビラ撒布

あす平支部役員協議

來る十四、十五の兩日縣下一齊に行はれる交通安全デーに際し自動車協會平支部ではこれが趣旨宣傳のため十一日午後一時から平署會議室に役員會を開き種々協議するが例年の如く透明マーク、ポスター注意事項、運轉手十訓等を管內要所並にガレーヂに掲げる外宣傳自動車隊を編成してビラ數萬枚を撒布事故防止を期する事となつた

紺屋高尾 晴れて添ふまで 一年辛抱せよ

昨夜平署の大岡裁き

平町彌宜町松本トヨ(二六)假名―は五年前前借八百圓で奈良縣郡山市同泉寺町河本樓に信夫と名乘つて娼妓に住み込みこの二、三年來七里もある道を通ひ續けた大阪府柏原町會社員藤木吉太郎(二九)とスッカリ意氣投合、去る六日年期明けとなつたトヨは吉太郎と共に喜び勇んで實家へもどつて來たので吉太郎方では吃驚、早速兄順三がその後を追つて來平し怱々歸宅を勸めたが『夫婦になれねば心中する』とどこまでも頑張る?二人に持てあまして昨夜この『裁き』を平署に持ち出した、兩人共老母を養つてる身なのでナカ／＼話しが纒らず、それと云つて仲を裂かれゝば死を口走る二人に越前役の本田司法主任もホト／＼手を燒いたが結局

今後二ケ年、お互ひ結婚工作に努力した上晴れて一緒になるのが將來のためだ／

との裁きが出て吉太郎君もヤット納得、今早朝『未來の花嫁』トヨさんに見送られて實家へ歸つて行つた

吉太郎君は友人三人と共にトヨさんの爭奪戰をやり遂に『戀の勝利者』となつたやさ型の美男子

蛭田川起工式

追經濟部長が列席

蛭田川改修工事の起工式は既報の如く來る十三日午前十時から擧行するが縣から追經濟部長、金澤技師、國分局が列席する

安部技師來郡

郡下明年度の道路施工の下檢査に縣土木課安部技師が今十日から三日間出張

爆藥窃盜事件 再び迷宮入りか?

容疑者阿部釋放さる

既報＝相馬郡玉野村のダイナマイト窃盜事件の容疑者として平署に擧げられた當時江名町折戸海岸埋立工事土工靑森縣生れ阿部定一(二八)は同署で取調べの結果玉野村でのアリバイがついたので九日夜遂に身柄を釋放同事件は再び迷宮に入つたわけ

秋風に誘はれ 家出三件

青年。 茨城縣多賀郡松岡町村山きみ內緣の夫山形縣最上郡西小國村志藤文吉(三五)は去る五日附近の大島芳男と共に家出、好間村に入つたらしいが實家は老母と幼兒なので暮しに困るからときみから平署へ

酌婦。 茨城縣那珂郡湊町七丁目淸次郎妹菊地ヨシ(二六)は去る五月二十三日東京市向島區寺島七丁目料理業岩村カツ方に酌婦に住み込んだが去月十四日前借を踏倒して逃走、郡內に入つたらしいからと抱主から平署に搜索願

小僧。 內鄕村高坂字御殿山竹田吉藏(三〇)同村金坂松岡正吉(一七)何れも假名―は去月上旬頃から茨城縣日立町宮田洋服商加藤大次郎方に弟子入りして間もなく逃げ出したので雇主から平署に說諭願

四倉町在軍 分會長決定

四倉町在鄕軍人分會では過般石川分會長辭任以來後任決定が極めて難產であつたが、愈よ此程新妻唯一郎氏が就任することに決定したが內部には新分會長に對して密かに慊焉たるものあり新分會長として今後の事務遂行上一段と奮發を要するものと觀られてゐる

視力保存 デー講話

平町各學校では今十日視力保存デーに當り近視虎眼その他視力保存に關する學級講話を行つた

菊田方部 体育大會

菊田方部體育大會は來る十三日午前八時より上遠野小學校に於て郡體育大會の種目に依り永島磐女教諭審判長で開催する事と成り目下各町村共必勝を期し猛練習中である

晩秋繭收入 一萬數千圓

郡內の農家潤ふ

植田繭市場本年度晩秋繭の買入總高は大体三千四五百貫、此の代金は一萬五、六千圓に上り同地方の養蠶家を潤す事少からず、附近農村一帶極めて明朗な氣分が漲つてゐる

豚丹毒の傳染系統?

けふ縣の輕部技手出張

既報、小名濱の豚丹毒は一時に三十九頭も出たので傳染を恐れた各飼育者は狼狽し直に豫防對策に乘り出し縣農務課輕部技手は今十日小名濱に出張、これが豫防方法を指示し傳染系統等の調査を進めて居る

愈々明日曜 磐女運動會

天候懸念さる

磐城高等女學校の第二十三回陸上運動會は愈々明十一日行はれるが呼び物の郡下小學女兒四百繼走は出場六組で組合せ左の如く、豫選は午前十時半頃、決勝は午後二時半頃同じく百米競走は出場五組で豫選を行はす午後一時半頃決勝を行ひ應援の女兒を動員して喊聲と興奮の坩堝と化せしめその他新記錄を目指す女生の跳躍を期待されてゐるが別項天氣豫報が頭痛のたねである

△四百繼走 A平第三 湯本 好間 B植田 四倉 平第二
△百米競走 平第二 同第三 湯本 植田 好間

前借踏み常習酌婦

內緣の夫と一と稼ぎ

茨城縣磯濱町生れ石井あい(三三)は去る七月二十一日若松市外町北村料理業泉家事高力仙助方へ前借四百三十圓で酌婦に住込んだが內緣の夫石井豊次郎(三〇)と共謀僅か一と晩で逃走行方を晦ましたので行方搜査中平町材木町風戶興行部方に潛伏してゐる事をつきとめ九日夜若松署からの手配で平署に檢擧された、同人等は各地を股にかけ前借詐欺を働いてゐたらしく十日朝來平の若松署員に引渡された

一週片々

◇功成り、名遂げて――四十年振りに故鄕の土を踏んだ高紫老兄弟は其後平老兵會や植田小學校の記念講演會に臨んだり片濱の親戚廻りをしたりして

『今度來る時はたくさん土產話しを持つて來ますよ』

と鄕黨に見送られ再び思ひ出多き平の土地を發つて行つた

◇最近製糸女工に出る村娘の大部分が好配を都會青年に求むる傾向ある處から『近まに相手を見つけ土に親しむべきである』と云ふ某氏の說を聽いた平職業紹介所長の四家さん。『それよりか、地元靑年の結婚思想?を養つて其らを引きつけさせるのが先決問題だ!』とは流石この道の苦勞人

◇愛犬家の平署齋藤司法主任が職掌柄セパート牝犬を警察犬に仕立てゝゐる事は世間周知の事だが更に同署長澤特高主任や本田第二司法主任なども近く秋田犬三頭を喜多方町の某氏から購入しこれを千葉の軍用犬訓練所に送つてミッチリ仕込んだ上『平署警察犬班』を結成して犯罪搜査の第一線に役立たせようとけふ此の頃の意氣込みは素晴らしい

◇勳八等に敍せられた平驛長山崎さんの名前『花郎』が餘りのいみじさに由て來る所以を尋ねると

『わしの家はどうも男が育たなかつたので親爺が女にあやかつて丈夫に育てゝやらうとたゞの『花』とつけたんだが昭和三年『郎』をつけたわけで本來ならば『ハナヲ』と呼ぶんだがドウも鼻緖に通ずるのでネ……』は御愛嬌

◇地上百尺の元品川白煉瓦の煙突が消える――と云ふので物凄い爆破作業の見物人で昨朝來附近は大した人だかりであつたが都合で延期となつた

哀れ四十男の死

愛し兒をあづけて 己れは鐵路の銹

內鄕村宮字宮澤一一坑夫高萩榮太(三九)は昨九日午後一時頃長男勝榮(三)を連れ湯本の野天風呂に行くと稱して家を出かけたが、磐崎村駐在所前にさしかゝつた際『父ちやんは一寸用事があるからお前はこゝに居れ』と獨り姿を晦ましてしまつた、待ちぼけ喰つて泣き叫ぶ勝榮に不審を抱いた平署員が事情をきくとそれと判つたので附近民を狩り集めて行方搜査中今曉五時頃磐崎村西鄕地內常磐線の貨物列車に飛び込み首を切斷されて無殘な轢死を遂げてゐるのを發見した、榮太は去月末頃から生活苦のため多少精神に異狀を呈してゐたもの

四倉繭市場

四倉繭市場昨九日の取引は出廻り二百貫、最高五圓十六錢、平均四圓九十錢

家庭不和から 死の逃避行

玉川の母娘救はる

七日午後五時頃洋髮やせ形の美人が三歲位の女の子を連れ磯濱町大洗ホテルに投宿し宿帳には玉川村大原渡邊キヨ子(三三)久美子(三)と記入したが日暮て海面を眺めては人知れずさめ／＼と泣き悲しんでゐる樣子が只事ならずと睨んだ女中の知らせでホテルから磯濱警部補派出所に申報、同所より藤咲警部補出張取調の結果家庭の不和から可愛い我子を道伴れに死を決し無斷家出したものと判明、死の一歩前で救はれ同夜郷里玉川村に打電夫清三氏を招き八日歸郷させた

天氣豫報

小名濱測候所

今晚は東の風曇後雨
明日は北の風曇後雨

梨小屋火事

赤井村赤井字平農矢野銀吾(六三)の梨小屋から九日午後十時半頃發火、同小屋一棟を全燒して間もなく鎭火した、損害五十圓、原因は銀吾が飲酒の揚句ランプをつけたまゝ寢込んだ不始末から

十一日（小名濱測候所發表）
日出 五、三九 月出前 一、三八
日沒 五、〇八 月沒後 二、四四
滿潮 後 一、三五 干潮 前七、二〇 後七、五五

十二日
日出 五、四〇 月出前 二、三五
日沒 五、〇七 月沒後 三、一一
滿潮 前一、〇五 後一、五〇 干潮 前七、五五 後八、三五

新暦十月十一日 日曜 舊八月二十六日 丙寅 先負 定 星宿

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 昨夜に物を探るが如き思ひあり焦るべからず▲二黑 勞苦のみ多くして割合に利得の得らざる日▲三碧 奮鬪すれば爲る程好結果を呈する幸運の日▲四綠 心に油斷なく八方に氣を配りて働くべき日▲五黃 逆運に向はんとして半途に邪魔の起る日▲六白 爭口を愼しみ爭論をさけ油斷なく勵めば平▲七赤 世の潮流に乘らず人の誘に陷らぬ樣注意の日▲八白 慾むに過ぐれば足元より過失を起す注意▲九紫 けん德を全ふする時は目上の引立あり發達す

新暦十月十二日 月曜 舊八月二十七日 丁卯 佛滅 執 張宿

▲一白 萬事機を外さず敏活に行動すべし福祉至る▲二黑 無理に事なくはたて短氣を起さば終に失敗せん▲三碧 取極め事は注意せざれば後に至り口舌あり▲四綠 平順の日にして穩健なれば利する所あらん▲五黃 猪突は意外の失敗を招く又口舌爭論に注意▲六白 うまずたゆまず勉勵すれば功果眼前に現はる▲七赤 進歸するのみにて窮困思ふまゝならざる日▲八白 なれぬ事には手を出す可らず意外の損あり▲九紫 堅固なる考を以て企つる事は成就すべき日

本日より…… 松茸そば、松茸丼を始めました

江戸前 海老天丼 天丼 親子丼

平田町 酒徳家 電話一七一番

朗かに醉ひます。
林檎の榮養分も豊かです。
口當りがよく爽かです。
御婦人方にも好適です。

林檎酒

リンゴから釀した酒です。
●ハカリ賣です。 一升 一圓三十錢 一合 十五錢

平・田町 白菊 廣瀬支店 電五四番

御待ち兼ねの杵の『おでん』と『なべ』

おでん
味は江戸前 種は江戸から 時は秋…味覺の秋!!!

なべ
味は江戸前 種は本場 はまなべ…ねぎまなべ よせなべ…しやこなべ ―(貳拾五錢均一)―

例年の通り始めました。
遠近に不拘御屆け致します。
御愛顧の程を……

評判と實際の店 江戸前 杵壽司 電六七九
◆出前迅速